

名詞・冠詞・形容詞の発展 - 2

『抽象名詞』…形が無く目に見えず性質・動作などを表す。単数形のみ。(数えられない)
抽象的な概念を表す言葉に多く、英単語としてのレベルも高くなる。

love (愛) , peace (平和) , kindness (優しさ) , sadness (悲しみ)
history (歴史) , science (科学) , physics (物理) , geography (地理)
justice (正義) , credit (信用) , judgment (裁判) , politics (政治)

『物質名詞』…一定の形や大きさがなく、物質を表す。単数形のみ。(実は数えられない)

water , milk , paper , coffee , bread , soap , chalk

「水」が数えられないのは何となく分かるけど、「パン」や「石鹸」や「チョコレート」でさえ英語においては“数えられない名詞” = 『不可算名詞』になってしまう。

これが日本人にとってはなかなか理解できない。

単純な識別方法としては、「半分に切ったときに壊れたり見た目が変わったりするものが“可算名詞”で、半分に切っても量が減るだけで用途や性質がまったく変わらないものが“不可算名詞”」ということになる。

『普通名詞』…形が無いが始まりと終わりがあるので数えられる。単数形・複数形がある。

war - wars (戦争) , work - works (仕事) , rest - rests (休憩)

1 , 次の語を、「可算名詞」= と「不可算名詞」= に分けなさい。(で囲む)

air (空気)
[·]

cloth (布)
[·]

glass (ガラス)
[·]

rain (雨)
[·]

dream (夢)
[·]

mountain (山)
[·]

ice (氷)
[·]

secret (秘密)
[·]

cheese (チーズ)
[·]

rice (米)
[·]

health (健康)
[·]

hope (希望)
[·]

story (物語)
[·]

music (音楽)
[·]

force (強さ)
[·]

ghost (幽霊)
[·]

time (時間)
[·]

furniture (家具)
[·]